

ケルン・ギユルツェニヒ 管弦楽団

— 大阪公演 —



Gürzenich
Orchestra
Köln

ブルッフ: ヴァイオリン協奏曲 第1番 ㊦短調 op.26

マーラー: 交響曲 第5番 嬰ハ短調

*都合により当初発表の指揮者から変更になりました。

「指揮」サカリ・オラモ
「ヴァイオリン」諏訪内晶子

2025 **2.11** (火・祝) 15:00開演 (14:00開場)

ザ・シンフォニーホール

S 22,000円 A 19,800円 B 15,400円 (全席指定/税込) 主催: ザ・シンフォニーホール

(ご予約・お問合せ) ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonycorner.jp>

- プレイガイド
- e+(イープラス) <https://eplus.jp/symphonycorner/> (パソコン・携帯)
 - ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonycorner/> [Lコード: 56693]
 - チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonycorner/> [Pコード: 265-460]

*末就学児のご入場はご遠慮いただいております。*やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。

*公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

The Symphony Hall プラチナコンサート
世界の巨匠とともに 2024

「世界の巨匠とともに」シリーズ全3公演
セット券もございます。
詳しくは専用サイトでご確認ください。



助成:  文化庁

文化庁 劇場・音楽堂等における
子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

ケルン・ギェルツェニヒ管弦楽団 大阪公演

ケルン・ギェルツェニヒ管弦楽団は、その起源を1827年に遡る、歴史と伝統を誇るオーケストラである。なかでも、ブラームスのヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲、R.シュトラウスの交響詩「ドン・キホーテ」と交響詩「ティル・オイレンシュペーゲルの愉快ないたずら」、マーラーの交響曲第5番などの傑作を世界初演した歴史は特筆される。そんなギェルツェニヒ管弦楽団が、1904年に作曲者自身の指揮によって世界初演したマーラーの交響曲第5番を、フィンランドの名匠サカリ・オラモとともに大阪の聴衆に披露する。マーラー5番の演奏の伝統を持つ彼らと、オラモの情熱的な指揮との化学反応が楽しみだ。

演奏会前半では、日本を代表する世界的なヴァイオリニスト、諏訪内晶子がブルッフのヴァイオリン協奏曲第1番を弾く。1990年のチャイコフスキー国際音楽コンクールでの優勝のあと、彼女がデビュー・アルバムで録音したのがブルッフの第1番であった。名実ともに日本を代表するヴァイオリニストとなり、銘器ガールネリ・デル・ジェズ「チャールズ・リード」を奏でてますます音色に磨きかける諏訪内晶子が、今、どんなブルッフの第1番を聴かせてくれるのか大いに注目される。

山田治生

[指揮] サカリ・オラモ Sakari Oramo, conductor



サカリ・オラモはBBC交響楽団の首席指揮者であり、ロイヤル・ストックホルム・フィルの桂冠指揮者、フィンランド放送響の名誉指揮者である。23/24シーズンには、チェコ・フィル、バーミンガム市響、フランス放送フィル、ロイヤル・ストックホルム・フィル、フィンランド放送響等に再客演する。これまでにベルリン・フィル、ウィーン響、ゲヴァントハウス管、ケルン・ギェルツェニヒ管、シュターツカペレ・ドレスデン、ボストン響、ニューヨーク・フィル、サンタチェチェリア管などの著名なオーケストラに客演している。オラモはフィンランド放送響のコンサートマスターを経て、バーミンガム市響の音楽監督(1998年-2008年)、フィンランド放送響の首席指揮者(2003年-2012年)ロイヤル・ストックホルム・フィルの首席指揮者(2008年-2021年)等を歴任している。オラモは新作や演奏機会の少ない作品も積極的に取り上げており、23/24シーズンはBBC交響楽団とともに、ドーラ・ペヤチェヴィチ、アリス・メアリー・スミス、グレース・ウィリアムズの作品を指揮するほか、キッシンゲンの夏音楽祭への出演や、スイス・ツアーではシベリウスの交響曲全曲を指揮する。

[ヴァイオリン] 諏訪内晶子 Akiko Suwanai, violin



1990年史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝。これまでに小澤征爾、マゼール、デュトワ、サヴァリッシュらの指揮で、ボストン響、フィラデルフィア管、パリ管、ベルリン・フィルなど国内外の主要オーケストラと共演。BBCプロムス、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン、ルツェルンなどの国際音楽祭にも多数出演。2012年、2015年エリザベート王妃国際コンクールヴァイオリン部門及び2019年チャイコフスキー国際コンクール審査員。2012年より「国際音楽祭NIPPON」を企画制作し、同音楽祭の芸術監督を務めている。24年6月に最新アルバム「ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ集」をリリース。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ソリスト・ティプロマコース修了。文化庁芸術家在外派遣研修生としてジュリアード音楽院本科及びコロンビア大学に学んだ後、同音楽院修士課程修了。国立ベルリン芸術大学でも学び、2021年学術博士課程修了、ドイツ国家演奏家資格取得。使用楽器は、日本にルーツをもつ米国在住のDr.Ryuji Uenoより長期貸与された1732年製作のガールネリ・デル・ジェズ「チャールズ・リード」。

[管弦楽] ケルン・ギェルツェニヒ管弦楽団 Gürzenich Orchestra Köln



1827年に設立のケルン・ギェルツェニヒ管弦楽団の起源はケルンの中世の音楽慣習にまでさかのぼり、ブラームス、R.シュトラウス、マーラー、シューマン、ベルリオーズ、ヴェルデ、ワーグナー等の複数の作品が同団にて初演された。これまでフェルディナント・ヒラー、フランツ・ヴェルナー、ギュンター・ヴァント、ドミトリー・キタエンコが音楽監督を、マレク・ヤノフスキ、ジェームズ・

コンロン、マルクス・シュテンツが首席指揮者を務めてきた。多数のレパートリーを持ち、各シーズン約50回の公演を実施、またケルン歌劇場のオーケストラとして毎シーズン約160公演を行っている。2015/16シーズンよりフランソワ=ガブリエル・ロトがカペルマイスター兼音楽総監督を務めている。

The Symphony Hall プラチナコンサート
世界の巨匠とともに 2024

プラチナセット券 [全3公演通し券]

[全席指定] **65,000円** (税込)
3公演すべて同じお座席でお楽しみいただけます!

プラチナセット券は、ザ・シンフォニー チケットセンターでのみ
お取り扱いします。他のプレイガイドでの販売はございません。



チケットについての詳しい情報は
専用サイトでご確認ください。

ご予約・お問合せ

ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休)